

2010年7月22日

報道関係者各位

No.-58120

株式会社 東陽テクニカ
東京都中央区八重洲1-1-6

東陽テクニカ、平成22年9月期第3四半期決算発表

(株)東陽テクニカ（8151：東京都中央区 渡辺洋介社長）は、本日（平成22年7月22日）午後2時、T D n e tにおいて平成22年9月期第3四半期の決算を発表しました。

概要

受注高、前年同期比14.9%増、回復鮮明

売上高は131億2千3百万円（前年同期比△8.5%）、営業利益は7億8千2百万円（前年同期比△25.9）、経常利益は10億6千万円（前年同期比△17.6%）となりましたが、昨年末に売却した米国子会社ClearSight Networks, Incの譲渡益13億6千1百万円を特別利益に計上したことから当期純利益は17億6千6百万円（前年同期比+101.3%）となりました。

売上動向

研究開発投資、回復確認

輸入売上高は120億8千9百万円で、前年同期比9.3%の減収、輸出売上高は9億3千1百万円で、前年同期比26.4%の増収でした。

主要分野の前年同期比は情報通信分野が3.3%減、自動車業界向けデータ解析分野が16.6%増、EMC測定分野が27.8%減となりました。特に情報通信分野は第3四半期だけでみると5.6%増となっており、回復が確認されました。輸出は韓国向け輸出を中心に前年同期比26.4%増と回復しつつあります。

受注動向

受注高、前年同期比14.9%の増加

当第3四半期（平成21年10月～平成22年6月）の受注高は、141億3千1百万円で前年同期比14.9%の増加となり、受注の回復が確認されました。

売上総利益率

当第3四半期（平成21年10月～平成22年6月）は前年同期比0.7%ポイント低下しました。これは、利益率が相対的に低い韓国向け輸出の売上に占める割合が増加したためです。なお、輸入売上高における利益率は上昇しております。当第3四半期の平均為替レートは対ドルで91円（前年同期96円）、対ユーロで128円（前年同期130円）でした。

経費

経費は51.7億円で、前年同期に比して6.8%の減少となりました。連結対象子会社が減少したことによるものです。

連結対象子会社

CLEARLIGHT NETWORKS社（米国）

昨年12月28日付で同社を米国Fluke Networks社に売却いたしました。

通期予想

第2四半期終了時の見通しどおりの推移を見せており、当第3四半期においても通期の予想は変更せず、以下のとおりとします。

この結果、予想年間配当金も前回予想通りの一株当たり54円（うち、中間配当金6円、過年度の特別配当金の当期支払い分13円）となります。

通期

売上高 185億円、営業利益 12億円、経常利益 15億円、当期純利益 20億円

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記まで

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室 ^(トトキ) 十時

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 E-Mail:totoki@toyo.co.jp